

# 社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書（中間評価書）

平成 26 年 3 月 28 日

計画の名称	8 広域的な交流・連携の充実による地域の自立・活性化を図る道路整備		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	美作市
計画の目標			

地域内外との広域的な交流・連携ネットワークを充実させるため、幹線道路・中心市街地・観光施設・公共公益施設へのアクセス改善による地域の自立・活性化を図る道路整備を行う。

## ○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
建設部（工務課）、田園観光部（商工観光課）、企画振興部（協働企画課）	・平成26年4月
	公表の方法
	・美作市ホームページに掲載する。

## ○事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美作市田淵地内の市道川北田淵線（第一工区）改良工事が完成した。</li> <li>・美作市位田地内の市道畑沖位田線改良工事が完成した。</li> <li>・市内の主要な観光施設（4箇所）にインターネットと連携した情報案内看板（デジタルサイネージ）を設置した。</li> <li>・勝田、大原、英田地区に利用者駐車場付バスステーションを整備した。</li> </ul>
--------------------------------	---

II 定量的指標の達成状況	指標①（総移動時間短縮率）	中間目標値	22.2 %	総合判定	目標値と実績値に差が出た要因	計画どおり実施している。早期の効果を発現させるため、一部供用開始したことにより目標値を上回ったものである。
		中間実績値	22.7 %	AA		
	指標②（円滑な移動の支障件数）	中間目標値	6 件	総合判定	目標値と実績値に差が出た要因	当初計画を変更し、情報案内看板の整備を前倒ししたことにより、各公共施設、観光施設間の円滑な移動が期待される。
中間実績値		11 件	AA			
	指標③（公共交通機関利用可能カバース率）	中間目標値	85.3 %	総合判定	目標値と実績値に差が出た要因	計画どおり実施しているが、人口の増減により目標値を上回ったものである。
中間実績値		85.9 %	AA			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	勝田地区に整備した利用者駐車場付きバスステーション整備に併せ、民間バスを含め周辺に点在したバス停の集約を行うと共に、乗り入れバスの時刻調整を行ったことにより、利用者の乗継時の利便性向上また、待合所の設置により快適な待ち時間を過ごすことができ、美作市バスの利便性の底上げにつながった。
--	---

## 3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期の供用開始による事業効果の発現を図るために、進捗状況の管理を徹底する。</li> </ul>
--

中間実績値は整備計画における中間年度末の実績値のことをいう  
 ※ 中間達成率は（中間実績値/中間目標値）×100で求められる値のことをいう  
 ※ 中間年度における評価基準は下記のとおりとしている  
 AA・・・中間達成率が100%以上  
 A・・・中間達成率が80%以上～100%未満  
 B・・・中間達成率が60%以上～80%未満  
 C・・・中間達成率が60%未満